

名城大学 通信

エコノワーククラブが、 大学チーム1位に!

10月6日、7日に、栃木県で開催された
「第27回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技大会」で、
大学チームで1位に、グループⅢでは2位に輝きました。
何とガソリン1リットル当たりの走行距離は、1,629.953km/Lでした。



2007年／12月号
NO.32
Meijo University



第27回

Honda エコノパワー
Honda Cup 27th H



▲中央:理・交4
花田直也さん
▶部長の村上
好生准教授



▲一番右が受賞車

第25回全日本大学 女子駅伝対校選手権大会



校友会関係者から激励を受ける部員達

優勝狙うもまさかの3位

杜の都仙台で10月28日開催された第25回全日本大学女子駅伝対校選手権大会で、まさかの3位に終わった女子駅伝部。

夏合宿の後、エース佐藤も完全復調し、このままなら優勝を狙えるはずでした。

ところが、1位でスタートした西川選手も途中で2位に後退、18秒差でタスキを2区の川井選手に。そのまま1位の立命館大学との差は開くものの2位をキープし、今年も2位でゴールかと思われた残り500メートル地点で、後から来た佛

教大学の1年生西原に追いつかれ、18秒差で3位。

日本で3位という成績は決して悪い成績ではありません。それよりもすごいと誉めなければならぬ成績ですが、選手達の涙には悔しさ

しかありませんでした。今年はいけると期待されただけに、「1回の勝負で一番よい成績を残す事の難しさを知りました」と米田監督も悔しさをにじませました。

今年はいけると期待されただけに、「1回の勝負で一番よい成績を残す事の難しさを知りました」と米田監督も悔しさをにじませました。

今年はいけると期待されただけに、「1回の勝負で一番よい成績を残す事の難しさを知りました」と米田監督も悔しさをにじませました。

今年はいけると期待されただけに、「1回の勝負で一番よい成績を残す事の難しさを知りました」と米田監督も悔しさをにじませました。

今年はいけると期待されただけに、「1回の勝負で一番よい成績を残す事の難しさを知りました」と米田監督も悔しさをにじませました。



出発前に理事長、学長からタスキに思いを書いてもらう



CONTENTS

1 全日本大学
女子駅伝

3 大学祭

5 ゼミ・学生活動
紹介都市情報学部
海道ゼミ

7 輝く卒業生

渡邊 琢磨さん

CAMPUS NEWS

名城大学Day報告 9

新司法試験合格者報告 11

クラブ成績紹介 19

飯島教授各賞を受賞 21

13 北陸シンポ

17 古いアルバムを
めくれば18 校友会から
お知らせ

揃いのジャンパー大学応援団



2区(6.6km) 川井 美佳



4区(4.9km) 足立 依實子

各選手の記録

1区(6.0km)	西川 生夏	②	19.27
2区(6.6km)	川井 美佳	⑤	22.00
3区(9.1km)	佐藤 絵理	④	30.22
4区(4.9km)	足立 依實子	②	15.58
5区(4.0km)	濱崎 智美	③	13.51
6区(8.0km)	井原 美帆	⑤	27.20

○の中の数字は、その区間中の順位、次はタイムです。

立命館大のように、1区で思いがけない期待以上の成績を出した時は、2区以後のメンバーも力以上に頑張つて、結果大会新記録で優勝ということになります。この次は名城大学に勝利の女神が微笑むように祈りましょう。



3区(9.1km) 佐藤 絵理



1区(6.0km) 西川 生夏



名城大学応援団



6区(8.0km) 井原 美帆

山内壮馬投手
中日からドラフト1位指名

名城大学



上手に火焼けたよ

今年のテーマは

spice — 想造する現在

この大学祭に関わる全ての人に、良い意味で刺激になってほしいという願いを込めてのテーマです。

皆の想いが絡み合い、それが大学祭を創り上げ、現在しか出来ない大学祭と一緒に創っていきたく、スタッフ一同の思いです。

11月2日～4日（都市情報学部は3日、4日）とも晴天に恵まれ、ひしめき合うほどの人出で賑わいました。今年の参加者は、若い人ばかりではなくお年よりから家族連れまで、広い年齢層で賑わっていました。それだけ身近なイベントになったということでしょう。



曲芸!?



かわいいでしょ!

八事
キャンパス



部員も増えて一層充実してきたチアリーディング部「リーブス」



去年の制服です!



あま酒も買ってネ



まもなく人海がはじまるよ



「どうやって重くなるかな?」



フィナーレを飾る「たにし踊り」「火の舞」

薬学部は新1号館が完成したものの、3、4号館の工事で場所が限られ、少ない空間を利用しての大学祭でした。各クラブの露店を始め、5号館前のステージ後夜祭では、恒例のラグビー部による「たにし踊り」「火の舞」で盛り上がりました。

可児
キャンパス

ライブステージ



小池教授のゼミで研究発表と野菜販売



「昨日は完売しましたよ」



ゴミ分別も定着



大学祭期間中、大学周辺を
ゴミ袋を片手にクリーンキャンペーン



最近盲導犬の募金に協力しています
ボランティア協議会



附属高等学校 文化祭2007

—今年のテーマは『愛 LOVE 友』—

9月20日～23日に附属高等学校文化祭を開催しました。

20日に開会式、翌日に芸術鑑賞を行い、テレビでおなじみの勝俣州和氏をゲストに迎えてトークショーを実施。23日には、1・2年生の各クラスが中心となった発表や、部活動・委員会による発表を行い、2号館玄関前にはPTAによる「名城名物・みたらし」の模擬店を始め、各種模擬店が立ち並びました。

文化祭の最後は、恒例の1号館エントランスでの大合唱（今年は「Believe」「愛唄」の2曲）で終わりました。



毎年ここで
「りんごあめ」
売ってまーす!



消防団活動理解
啓発ブース



ゼミ・学生活動
紹介



りんご農園で記念撮影

市街地の再開発で成功していると言われる飯田市、
そのがんばっている飯田市を
都市情報学部の海道ゼミ4年生・3年生14人が、
二泊三日のゼミ合宿のフィールドワークで訪れました。

海道ゼミ合宿

都市情報学部



飯田市は昭和

した。

22年の大火で街の2/3を焼失し、
焼け野原から市民が協力して復興を誓い、再度の火災から街を守るための工夫をいくつか考えました。

その一つは、延焼を防ぐ広い道路です。現在は、信州特産品のりんごを植えて、水が流れ、歩行者優先にして楽しみながら歩く「りんご並木」となっています。これは、当時の中学生の発案を市に働きかけたもので、現在もその後輩の中学生と市民が整備、保護しています。この道を歩くとりんごのいい匂いがします。

また、それまで隣の家々が密接していたのを、各家が1メートルずつ出したの、裏界線と呼ばれる道を作りま

市役所の商業・市街地活性課の条原課長から説明を受けた時、「街づくりが成功したかどうかは、訪れる人が増え、産



「りんご並木」で



市役所の職員さんの案内で



主体は学生バーベキュー



飯田市役所で説明を聞く

業が発展していくというだけでなく、「ここに住んで楽しい」と思ってくれる人が何人いるかだと思うと発言がありました。一過性のものではなく、ずっと飯田市が住み易い街として生き残るための『原点』かもしれません。

学生たちは、初日にりんご並木や再開発のビルを見て、翌日は特産品でもあるりんご狩りを楽しんだ後、店主の方々にまちの現状や再開発の評価についてのアンケート調査を行い、ワークショップで議論をしました。合宿最終日には、フィールドワークで見いだした飯田市の再開発についての評価をまとめ、後日市役所にも提言することになっています。

学外授業

都市情報学部

「犬山旧城下町地区 タウンウォッチング」



奥深い邸の中

6月8日、1年生の「都市整備論」(海道教授)を犬山市で行いました。犬山市は、城下町の歴史的街並みを活かしたまちづくりが進められており、この企画は全国1位(国土交通省まちづくり交付金事業)に選ばれました。現在、道路の修景、電線類の地中化、古い町家の修復や活用などの事業を継続しています。

学生たちは、そんな街並みを3、4人のグループで実際に歩きました。古い民家に入って縁側に座ったり、資料館(どんでん館)を見学したりして、まちづくりのこれまでの成果、これからのまちづくりで取り上げるべきところや、旧城下町地区の特徴がよく出ているところなどを見だして、レポートにまとめ、翌週の授業で提出します。レポートのコピーは、市役所の担当課にも送られ、市の行政の参考にしてもらいます。



磯部邸の入口で



現在グループで6つの旅館を持ち、1つが建設中とその輪は大きく広がっています。また、バス会社ドルフィンワークスの社長でもあります。

一度は泊りたい知多半島の有名旅館「源氏香」、そのグループの二つ「花乃丸」を任されている、SPA & RESORT 海栄 RYOKANS の常務取締役 渡邊 琢磨さん。（商学部経済学科2001年卒）

天の丸 風の谷の庵

— 最初から旅館を継ぐつもりでしたか？

20数年前から父が「鯨亭」を始め、小さい頃から旅館業を見てきましたが、旅館は兄がいるため継ぐつもりはありませんでした。8年前に「源氏香」を建設したのをきっかけに、ホテル竹島へ修行の意味も含め就職しました。

現在の「花乃丸」を6年前

に開業したため、3年くらいは勤めるつもりでいたホテル竹島を9ヶ月で辞めて、ここをやることになりました。

— 新しいサービスはなかなか思いつきませんが、どんな工夫をしていますか？

「源氏香」は、屋上露天風呂からの眺めと、今では増えてきた「選べる浴衣」、随所に様々な薫りを配して精神的なくつろぎ・優雅な時間のサービス、客室露天風呂、女性専用フロアなど新しいサービスで、一度は泊りたい旅館にも名を連ねています。グループとして、企画、情報の共有のために月4回会議を開き、何かいい企画があれば即取り入れる、これは止め

た方がいいというものは取り止めるようにしています。



—何を心がけていますか？

「閉鎖された旅館」が増えることにより、観光地が寂れてきたり、異業種から旅館業への参入が増えています。その現象や競争に生き残るためには、1軒の旅館では太刀打ちできないので、現在、グループの経営方針として、大変なことはありますが、拡大路線をとっています。

また、観光業は地域社会との協力がなければ成り立たない業種です。そういった事からも、グループが進出した地域に

おいても、地域との協力と調和を大切にしています。そのために、周りの施設にも配慮し、料金を下げるのではなく、付加価値を高めてお客様の満足を得られるように努力しています。

—大学時代の思い出は何ですか？

あまり真面目な学生ではなかったですが、3年生から鈴木英夫教授のゼミをとりました。これが一番思い出に残っています。海外へ行きたいと相談すると、当時交流協定を結んでいたオーストラリアのクイーンズランド工科大学へ留学を薦められました。この留学がとても有意義でした。世界が広がり、見方が変わりました。また、アジア圏の友達もできました。鈴木先生には結婚式にも出席していただきました。

彩向陽



—これからの抱負は？

父は、いろいろな旅館に仕事で宿泊できる、とてもおもしろい仕事だと言います。従業員と他の旅館に泊り、参考にしたりはしていますが、まだ楽しいというより、やらなければならぬという意識のほうが強いですね。

2月に富山県に1軒オープンする予定ですが、それを任されることになっています。あと3年以内にグループの旅館を10軒にすることが目標です。

花乃丸

HANA NO MARU

☎ 0569-64-3555

愛知県知多郡知多町大字豊浜字廻間
http://www.hananomaru.jp



鯨亭

源氏香

今は高級旅館、ホテルでも経営は大変だと思います。しかし、その地域が寂れないように、閉鎖した旅館を買収し、喜んで来てもらえる旅館になるように親子で情報を集め、今何が求められているか、その先端を行く努力でどんどん拡張していきます。泊りだけでなく、お昼の食事と貸切露天風呂など、お客様を呼ぶ方法も様々ですが、しっかりと地元東海三県に根付いた活動で発展しています。

CAMPUS NEWS

金田一秀穂氏の特別講演会 「心地よい日本語」

金田一秀穂氏は、金田一京助氏(祖父)言語・民族学者、春彦氏(父)国語学者と3代目になる国語学者で、現在は、杏林大学教授。名城ホールの他に、予備教室102・105が聴講者で一杯になり、金田一先生のお話に引き込まれ、笑いが一杯でした。「楽しかった、漫談を聞いているようだった」「楽しかった、また来年も来たい」という声が聞かれました。



名城大学 Day

おじんの童話朗読会 「桜の下で月の下で」

童話作家 鬼頭隆氏(本学商学部卒)

恒例になってきた、おじんと鬼頭さんの童話朗読会。妻紀子さん、長女瑞希さん等で音楽と朗読をします。

今回は、暴れん坊のオオカミとやさしいウサギの物語。小さな子どもから大人までこれを楽しみに参加した方も多くなりました。



「知の発信」 実験講座

農学部の実験講座だけでなく、総合研究所などの実験講座もあり、大人から親子連れまで真剣な顔で臨んでいました。



学食無料体験

いつも学生たちが利用する学食を、この日は無料開放しました。これも毎年のことになりました。「去年は名城食堂だったから、今年は井にしました」と、やはり毎年楽しみに来ていただいているようです。

11時には、スカイクルーズはもう1時間待ちになるほど。大盛況でした。



校友会全国物産展および 附属農場農産物即売会

毎年発売と同時にすごい人の群れ、農産物はすぐに完売、全国の旨いものもドンドン品数が少なくなり、ほどなく完売しました。この企画も人気です。



名古屋市交通局 「お絵かきバス」

小さな子どもさんから、ちょっとお兄さん、お姉さんになった子どもさんまで、にわか画家が一杯。中には名城大学Dayの宣伝まで。街中を走ってくればちよっとした宣伝ですね。



アオザイで「ようこそ」
留学生コー
ナーでは、お国
料理を作って
試食、おいしい
と好評を得て
いました。



附属高校生徒による「和太鼓」の演奏
オープニングでの演奏は、太鼓の音がズシリと響き、和のよさを出していました。

公開講座「知の発信」

むつかしいと思われたのか、なかなか満室にならない中、理工学部部の「外来種の駆除は日本の生態系を救うか？」は、教室二杯の人でした。



ノルディックウォーキングを始めよう

ストックの持ち方、長さの指導を受け、楽しい準備運動をしてから外へ。実際にストックを使って歩きまし



えいごdeビンゴ

今年は天気が悪いためサンクンガーデンで行う事ができず、名城ホールで大きなスクリーンに映し出しているビンゴ。「やったー」「はい」と手を挙げて、商品の絵本を一生懸命選んでいました。



体験ができる企画が人気！

ビーズ細工や紙で作ったこまなど、スタッフから教えてもらって真剣に取り組む。たくさん親子連れで賑わいました。



防災ときずなを考える

あいにくの天気のため地震車体験はできませんでしたが、非常食試食コーナーには各回とも大勢の人が並んで試食をしていました。



進学相談コーナー

入学センターのスタッフが受付テーブルには、いつも受験生と親御さんが座って相談をしていました。

オープンキャンパスとはまた別の雰囲気でした。



今年も6名が合格

— 法学未修者（3年制）コースの修了者が初めての新司法試験 —

20名の学生が挑戦した今回の試験では、第一の関門となる短答式試験で11名の合格者を輩出し、最終関門となる論文式試験を経て6名（内訳：法学既修者コース修了2名、未修者コース修了4名）が合格となりました。



今回の合格者には、薬剤師や弁理士、本学法学部出身者やシステムエンジニアの業務経験を有する理工系出身者もおり、「（法学以外の専門分野を有する）専門性の高い優れた法曹を大量に

理系出身で未修者コースを修了して合格した

藤川 誠二さん



○司法試験を目指したきっかけは？
（特に理系から転向したのは？）

法律未経験者であっても広く人材を求めるという法科大学院が設置されたということが大きかったです。法学部出身でない人が司法試験を目指すということは、勉強を始める以前にそもそも選択肢にすら挙がらないことが多く、とても勇気があることですが、新しい制度のもと3年間必死で勉強すれば合格できるのではないかと考えたからです。

○どんな弁護士になりたいですか？

法科大学院の入学者の多くは、法学部出身者ですが、私は、理系出身であり、社会人経験もあります。そういう意味で、おそらく法科大学院が求めている、これまでの司法試験合格者にはあまりないタイプであると思います。また、具体的なイメージはできていませんが、型にこだわらない思い切ったことができる法曹になりたいと思います。

○3年間名城大学で学んだ感想は？

とにかく日々の予習等で忙しく、自転車操業のような毎日でした。ただ、これまでは感じたことはなかったのですが、勉強することが楽しいと感じていました。それはおそらく、法科大学院で学んでいることが、司法試験や修了後に実際に役立つことばかりだということもあり、目標を持って勉強ができたからだと思います。

○どんな授業がよかったですか？

法科大学院の講義は、講義形式が中心の要論科目と討論中心の演習科目があるのですが、演習科目では、事前の予習を前提に学生の討論が多く行われます。時には意見の相違から、激しい討論が交わされます。一方の立場で参加している場合でも、一歩引いて両者の主張を見守っている場合でも有意義でした。たまに熱

くなったりすることもあるのですが、学生が積極的に意見を述べることができる講義がとてもよかったです。

○後輩に伝えたいことは？

一生懸命なにかに取り組んでほしいと思います。興味はそれぞれ違うものですが、何かに一生懸命になれば、自信がつくと思います。何かに自信が持てると、他のことについても心の余裕が生まれるし、広い視野が持てるものだと思います。それと、「これで終わり」というところはなく、常に先につながるものだと思うといいのではないかと思います。例えば、私は、一生懸命勉強して、司法試験に合格しました。やればできるのだ、と大きな自信になりました。でも合格したことは、もう過去のことです。そこで「合格バンザイ！」なんて勉強の手を抜いてしまったら、ただの司法試験合格者です。実務では相手にされないことでしょう。私の場合は、法科大学院での一生懸命勉強したことを忘れずに、司法修習においても、実務家になつたとしても、一生懸命やれば、何でもできるんだ、でも、やらなければ何もできないぞ、ということを経験に銘じていこうと思っています。みなさんも、ぜひ自分を信じて、何かに一生懸命取り組んでみてください。



養成する」ことを目的とした新司法試験の本来の趣旨に合致する成果を挙げていると言えます。今回合格した2名の方に体験談をお願いしました。

本法学部から法務研究科へ進み、卒業した年に合格した

藤谷 久美さん



○3年間名城大学で学んだ感想は？

勉強をしていくうえで、どのような勉強をした方がいいのか、自分に何が足りないのかなど、悩むことは多々あります。大学院では、常に先生方が学生の事を気にかけて、先生の方から声をかけてアドバイスをしてくれました。必要であれば学生の要望に応えたゼミなども行ってくれました。勉強は、自助努力でするものですが、名城大学では、学生の自主性に任せながらも方向性がずれないように、常にさりげないサポートをしてくれていました。自分なりの方法で勉強ができるという環境が自分には合っていたので、私には適した環境でした。

○どんな授業がよかったですか？

一年次の民法の授業では、論点だけを学ぶのではなく、一つ一つの概念や条文などを深く掘り下げ、法律の解釈の基礎を学びました。それがすべての科目を通じて大変重要な役割を果たしたと思います。

また、三年次の裁判演習では、それまでに学んだ事を実際の事件ではどのように進められるのか、手続はどのように進むのかと学びました。漠然とした理解では到底付いていけず大変でしたが、法律の運用能力を身につける貴重な機会でした。また、訴状等の作成を通じて、論文試験に必要な文章力を磨くことができました。

○先輩に伝えたい事は？

(法務研究科在学生と司法試験を目指す学部生へ)

とにかく地道な努力を少しずつでも積み重ねていくことが、司法試験合格の一番の近道ではないかと思っています。勉強に行き詰まり、辛いこともあるでしょうが、目先のことに捕らわれず、目標を達成してください。

(学部生へ)

学部生の方で、法曹に興味があるけれど司法試験は敷居が高いと思っている方もいるのではないのでしょうか。しかし、司法試験は決して頭のいい人だけが合格する試験ではないと思います。地道な努力が出来れば、誰にでも合格のチャンスはあります。諦めず、ぜひ多くの方に挑戦して欲しいと思います。ロースクールという制度は、司法試験に向けて何をすればいいのかわからない人に道筋を示してくれると思います。

名城大学の社会貢献を情報発信 「北陸シンポジウム」 ～今年は加賀百万石「金沢」から～



東京、大阪と続いて、今年は11月17日に約1000人の参加を得、北陸シンポジウム（金沢）を開催しました。

テーマは「持続可能な社会を目指す―健康・環境・安全の観点から―」。世界最先端の研究、学生によるボランテニア活動、全学あげてのISO14001環境マネジメントシステムの取り組みなど、総合大学ならではの多彩な成果について紹介しました。

特別講演

「オルタナ」副編集長 木村麻紀氏

「LOHAS（ロハスと読みます）―健康と環境を配慮する生活スタイル―」と題して、ロハスの生活スタイルとはどのようなものか、また、自然豊かで暮らしやすいとされる北陸地域にある資産を、ロハスの視点から活かしたビジネスや街づくりのヒントを話しました。

ロハスを知っている人は、会場内でもごくわずか、そんな中で、こんな時にはこうするという18項目の

質問を問い、当ではまった数によりロハス的な生活だと分り易く説明するなど、これからの地球環境を守りながら生活する、企業や世界的な取り組みを紹介しました。

※「オルタナ」は、ヒトと社会と地球を大事にするビジネス情報誌です。





名城大学からの情報発信として、理工学部建設システム工学科宇佐美勉教授が、「地震に強い建物ー耐震・免震・制震ー」と題して講演。新潟中越地震、能登半島地震、新潟中越沖地震と立て続けに大きな地震に見舞われたこの北陸で、耐震（地震に耐える）、免震（地震をやり過ごす）、制震（地震による損傷を制御する）などの方法による建物の耐震補強について話しました。

もう一つの情報発信は学生活動です。平成16年7月に発足してから、クリーンアップ大作戦、地域安全協力会防犯パトロール、災害復興ボランティア、盲導犬育成ボランティアの4つを活動の柱として、地域に密着した活動を行っています。そのボランティア学生の活動を、法学部3年の前田裕地さんが紹介しました。



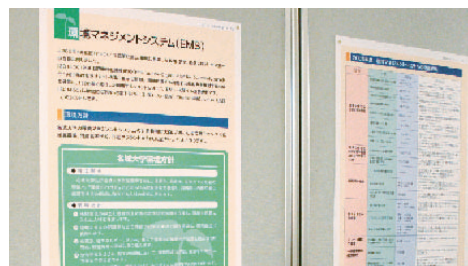
現在の大学キャンパス



大学の歴史



ボランティア協議会の活動



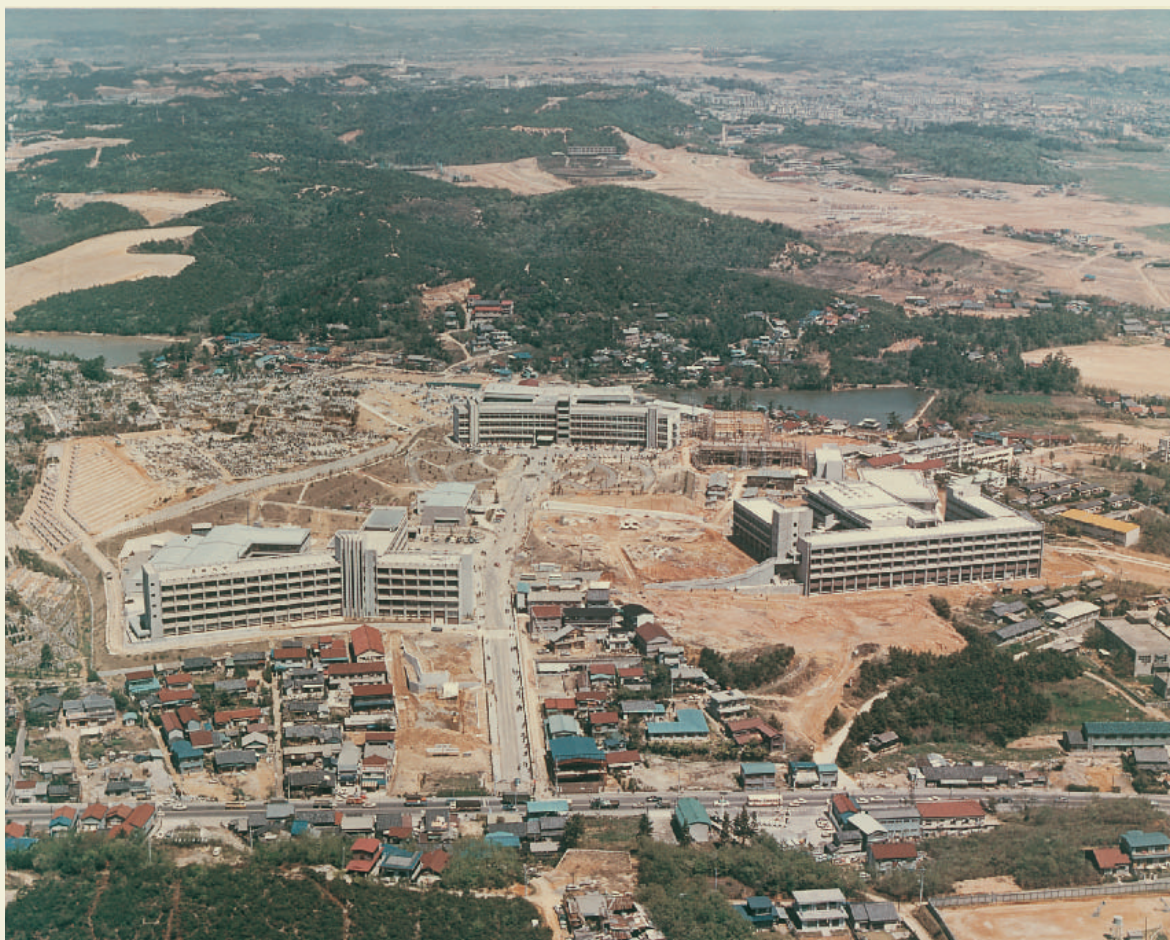
ISO14001環境マネジメントシステム

パネル展

古いアルバムをめくれば

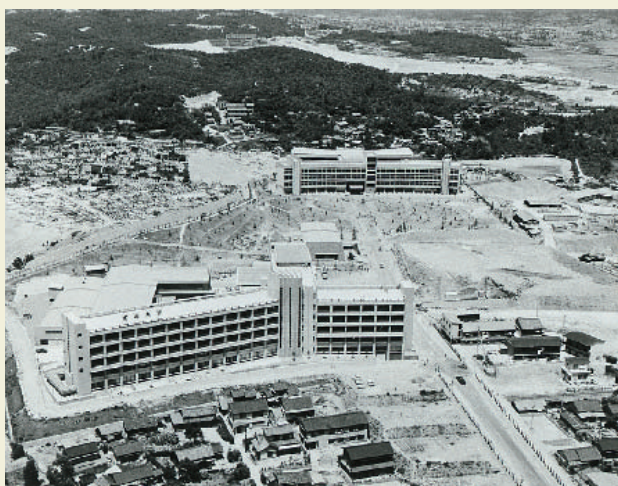
【第2回】

理工学部



(S43年頃)

理工学部の建物も2号館、3号館、4号館と揃いました。(まだ東側の繋ぎ部分はありません)



(S34年頃)

1号館、仮本部棟、2号館、3号館まで建設されています。1号館東側にあった「名城大学」の看板も2号館の上に移され、R153から見えるようになりました。

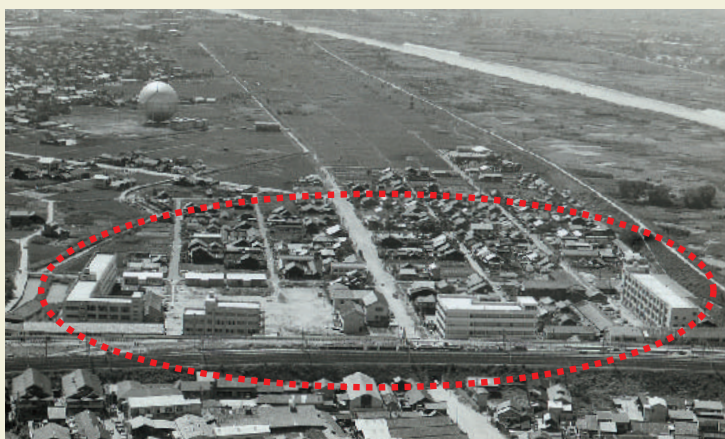
1号館の次は、理工学部の建物の紹介です。古くは中村校舎から始まり、2号館、3号館、4号館と続きました。

2号館、3号館は変わりませんが、4号館は東南に繋ぎ部分ができましたし、前の図書館建設予定地(かなり長い期間予定地でした)に実際に図書館が建設され、教養の研究室、事務室があった3階へ直接行ける階段もなくなりました。

もっとも、3階とは今の階の呼び名で、昔はA棟、B棟、C棟、D棟で階が違っていました。外から訪問した方が、学生ホールから電話で「行きつけません」と連絡をされることも多々ありました。昔は確か2階だったと思います。とても分りにくい4号館でしたが、11号館ができ、階を統一しました。



中村校舎のあった現附属高校



建設途中の中村校舎 (S34年頃)



中村校舎N館



中村校舎



2号館

1号館側から見た2号館玄関です。手前右下の坂道を上がると学生部がありました。今は大きな樹木が年月を物語っています。



2号館

大学の前には下宿と民家があり、現在の校友会館や郵便局はまだ更地でした。



中村校舎S館



4号館

4号館の玄関です。手前の棟の入口にあります。今でも同じですが、図書館が前に建設され目立たなくなりました。手前の空地も今はタワー75や10号館が建設されました。



教養の事務室 (今の3階) へ直接行く階段

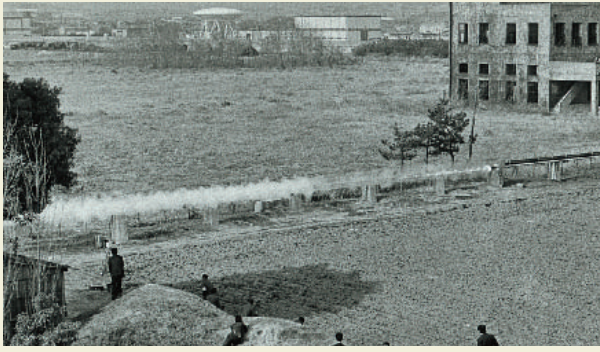


名古屋専門学校のプレート

名古屋における私学では唯一の理工系旧制専門学校として開設され、大学発足後も併設、旧学校制度存続の最後まで続きました。



名古屋理工科学校開校当時の校舎 (東新町) 昭和17年中村校舎へ移転



音速滑走体

小澤教授の音速滑走体実験（春日井の附属農場で）



中村校舎実験実習（S34年頃）



故小澤久之丞元学長（6代）、元理工学部長（4・6・8代）



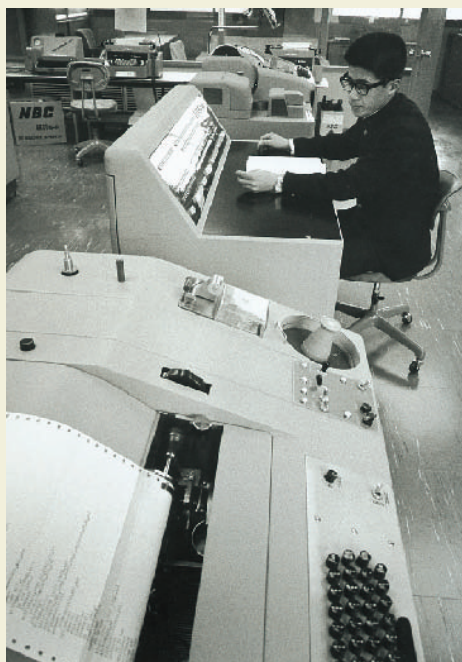
図書館理工分館



天白2号館売店



故石橋新太郎元理工学部長（10・12代）



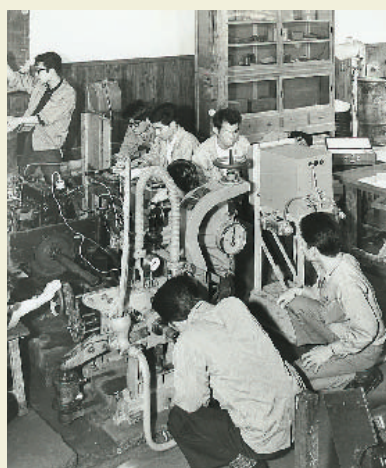
電子計算機室



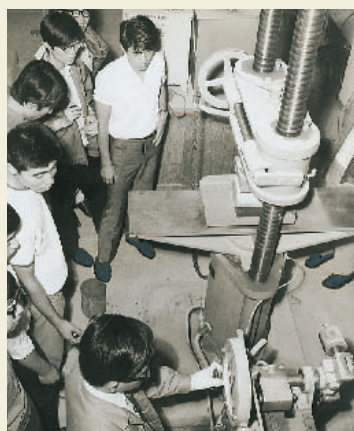
土木工学科



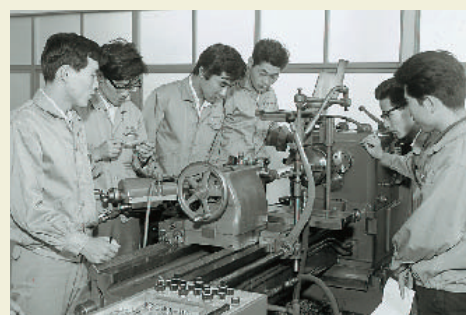
土木工学科 測量実習



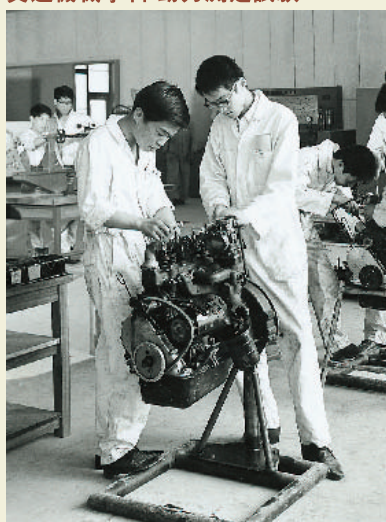
交通機械学科 動力測定試験



建築学科



機械工学科



交通機械学科 実習



建築学科



(S36年)

クラブ成績報告

所属	クラブ名	日時	場所	大会・試合の成績、結果
体	アメリカンフットボール部	9月9日～11月4日	港サッカー場他	東海学生アメリカンフットボール秋季リーグ 全勝優勝 【名城大59-3愛学院大 名城大69-0三重大 名城大17-0中京大 名城大21-7名大 名城大30-13南山大】 関西入替戦へ
体	弓道部	10月21日	中京大学 中京高等学校弓道場	第51回東海学生弓道秋季リーグ戦Ⅲ部リーグ 男子優勝
体	弓道部	11月4日	名古屋工業大学 弓道場	第51回東海学生弓道秋季リーグ戦 【男子Ⅱ部入替戦】Ⅱ部リーグ昇格
体	硬式野球部	9月1日～10月19日	名城大学 日進グラウンド他	愛知大学野球 秋季Ⅱ部リーグ戦 優勝(9勝4敗1分) 【名城大2×1名院大 名城大1×2名院大 名城大6×2名院大】 【名城大2×1愛大 名城大3×4愛大 名城大0×7愛大】 【名城大3×1東海学園大 名城大6×0東海学園大】 【名城大3×1星城大 名城大1×2星城大 名城大1×0星城大】 【名城大0×0日福大 名城大3×1日福大 名城大3×0日福大】 優勝決定戦【名城大3×2星城大】 Ⅰ部入替戦敗退 【名城大4×2名商大 名城大0×2名商大 名城大0×1名商大】
体	硬式庭球部	8月31日～9月9日	有明 テニスの森公園	全日本学生テニス選手権大会 シングルス2回戦敗退【経営・3原田温美 1回戦:6-2、6-2広島大 2回戦0-6、2-6日体大】 ダブルス2回戦敗退【原田・尾堂】
体	蹴球部	5月27日～10月14日	大同工業大学他	第6回愛知県学生サッカーリーグ戦 準優勝(7勝1敗1分) 【名城大5×0名市大 名城大2×0星城大 名城大1×4南山大 名城大4×1愛大名古屋 名城大3×2大同大 名城大6×3名工大 名城大7×3名産大 名城大3×0みずほ大 名城大2×2愛知東邦大 名城大7×2名外語大】
体	柔道部	9月2日	愛知県武道館	東海学生柔道体重別選手権 男子60kg級3位【法・1石飛裕太】 66kg級3位【理・4中川圭祐】 73kg2位【法・3三好顕士】 3位【法・1宮坂彰良】 81kg級優勝【農・4竹内正雄】 3位【法・3山田大佑】 90kg 級優勝【経営・1稲垣亮】 100kg級優勝【法・2出口博基】 3位【法・1本田真敏】 100kg超優勝【法・1伊藤吉貴】 女子52kg級優勝【法・3白野恵】 57kg級優勝【法・4山本舞】 70kg級2位【法・3奥村真由美】 78kg級2位【法・3鈴木美穂】 78kg級超2位【法・3高瀬真由】
体	柔道部	10月8日	愛知県武道館	愛知県学生柔道新人優勝大会 男女優勝
体	柔道部	10月13日～14日	日本武道館	全日本学生柔道体重別選手権大会 男女共各階級1・2回戦敗退
体	水上競技部	9月6日～9日	東京辰巳国際水泳場	第83回日本学生選手権水泳競技大会 男子200mバタフライ 3位【法・4近藤寛晃1分59秒07】
体	女子駅伝部	8月5日～16日	タイ バンコク	ユニバーシアード 10000m 5位 【法・2西川生夏】
体	女子駅伝部	10月28日	仙台市	第25回全日本大学女子駅伝 3位(2時間08分58秒) 1区2位【西川生夏(19分27秒)】 2区5位【川井美佳(22分00秒)】 3区4位【佐藤絵理(30分22秒)】 4区2位【足立依實子(15分58秒)】 5区3位【濱崎智美(13分51秒)】 6区5位【井原未帆(27分20秒)】
体	卓球部	9月5日～7日	名古屋市東 スポーツセンター	東海学生秋季リーグ戦Ⅲ部リーグ 男子5位 女子3位
体	テコンドー部	9月30日	大垣市武道館 柔道場	第9回岐阜県テコンドー選手権大会 型:ベスト8・組み手:ライト級優勝【人・3松村友裕】
体	日本拳法部	10月28日	枇杷島 スポーツセンター	第23回全日本学生拳法個人選手権大会 2回戦敗退 第42回中部日本学生拳法新人戦大会 2回戦敗退
体	バスケットボール部	9月8日～10月14日	名古屋市営 スポーツセンター ・名古屋市民体育館	第78回東海学生バスケットボール大会 Ⅲ部リーグ戦順位決定トーナメント2位 【名城大90×76愛知みずほ大 名城大113×103名経大 名城大63×91静産大】 入替戦敗退【名城大97×95名大 名城大89×105名大】
体	バドミントン部	8月25日～31日	北九州市立 総合体育館	第47回西日本学生バドミントン選手権大会 団体戦:2回戦敗退 個人戦:シングルス・ダブルス共2回戦敗退
体	バドミントン部	10月12日～13日	稲永 スポーツセンター	第27回愛知大学新人バドミントン大会 男子団体準優勝
体	バドミントン部	10月22日～26日	天白 スポーツセンター	第52回愛知学生新人バドミントン大会 男子シングルス・ダブルス共4回戦敗退 女子シングルス2回戦敗退、ダブルス1回戦敗退

所属	クラブ名	日時	場所	大会・試合の成績、結果
体	バレーボール部	9月22日～10月27日	AGU スポーツセンター	第124回 東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 6位(4勝6敗) 【名城大1×3愛大 名城大3×2静産大藤枝 名城大3×0大同工大 名城大2×3中京大 名城大0×3愛院大 名城大0×3朝日大】 3勝4敗下位リーグへ 【名城大3×1大同工大 名城大2×3静産大 名城大0×3静産大藤枝】
体	ハンドボール部	8月7日～12日	東スポーツセンター等	西日本学生選手権ハンドボール大会 準優勝 西日本インカレ予選【名城大27×8沖国大 名城大23×13天理大 名城大24×14広経大】 決勝トーナメント【名城大26×22福岡大 名城大30×28中京大】 決勝【名城大25×27関西大】
体	ハンドボール部	9月8日～9月30日	中部大学他	東海学生ハンドボール秋季リーグ 準優勝 【名城大37×16愛教大 名城大23×21大同大 名城大24×16明文大 名城大20×18中京大 名城大23×24中部大 名城大25×13愛大】
体	洋弓部	9月23日	定光寺自然休養林内 フィールドアーチェリー場	東海学生アーチェリーフィールド選手権大会 3位【農・4杉山友里】⇒インカレフィールド出場 9位【農・3大野仁美】
体	洋弓部	10月12日～14日	広島県佐伯 アーチェリーフィールド	第20回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 20位【農・4杉山友里】
体	ライフル射撃部	9月21日～23日	愛知県 総合射撃場	第36回中部学生ライフル射撃三姿勢大会 10m3×20 団体準優勝【1675点】 個人5位【人・4小坂夢織】 7位【法・4山口大介】 8位【法・3蛭子博貴】 第25回中部学生ライフル射撃伏射大会 10mP60 団体3位【1721点】
体	ラクロス部	8月25日～11月4日	名城大学グラウンド他	第14回東海学生ラクロスⅠ部リーグ戦 男子優勝 【名城大11-10岐阜大 名城大11-6信州大 名城大7-6南山大 名城大18-5滋賀大 名城大6-5日福大】 Final 【名城大8-7日福大】
体	陸上競技部	9月1日	半田運動公園	東海学生陸上競技夏季大会 男子400mH3位【法・3高柳智彦56秒51】
体	陸上競技部	9月8日～9日	三重県営競技場	第50回東海陸上競技選手権大会 男子100m3位【経済・2下條裕紀11秒27】
体	陸上競技部	10月13日～14日	瑞穂公園陸上競技場	第34回東海学生陸上競技秋季大会 男子400m準優勝【法・3阿久澤宏明49秒36】
体	ラグビー部	9月16日～11月11日	各大会会場	東海学生ラグビーAリーグ戦 全勝優勝 【名城大86-0名大 名城大127-5名商大 名城大86-7名学大 名城大45-20愛院大 名城大112-5淑徳大 名城大118-7日福大 名城大78-14愛工大 名城大24-14朝日大 名城大22-3中京大】 関西第5代表決定戦へ
オ	将棋部	8月21日～23日	アビオ大阪	西日本学生将棋団体対抗戦 総合3位 【名城大2×3関西選抜 名城大4×1中国四国九州選抜 名城大3×2福岡大 名城大3×2山口大 名城大3×2岡山大 名城大3×2金沢大 名城大3×2龍谷大 名城大1×4中部・北信越選抜 名城大3×2大阪市立大】
オ	将棋部	8月26日	日本ガイシホール	東海団体リーグ Bリーグ7位(Cリーグへ) 【名城大1×4将棋新選組 名城大2×3愛知県庁 名城大2×3梶野愛好会 名城大2×3尾張同好会】
理	エコノパワークラブ	8月16日～21日	広島県運転免許センター	第8回スーパーマイレージカーチャレンジ広島 総合2位 【MEGV-2004・2136.6Km/L】
理	エコノパワークラブ	10月4日～8日	栃木ツインモディ	第27回本田宗一郎杯HONDAエコノパワークラフト燃費競技全国大会 総合2位【グループⅢ:大学・短大・高専・専門学校クラス】 【MEGV-2004 1629.429km/L 名城B 688・953km/L Nova 674.246km/L】
都	硬式庭球部	8月31日～9月9日	東京有明 テニスの森公園	全日本学生テニス選手権大会 ダブルス2回戦敗退【都・3鹿島一輝】 【1回戦:6-3、6-3新潟大 2回戦5-7、1-6青学大】
都	硬式庭球部	9月9日～9月27日	東京有明 テニスの森公園	第57回東海学生新進テニス選手権大会 ベスト8
薬	硬式庭球部	8月10日～16日	藤波台運動公園	関西薬学生連盟硬式庭球大会 男子団体6位 女子団体準優勝 女子個人4位【薬・3山田尚子】
薬	ソフトテニス部	8月1日～3日	伊勢市市営庭球場	全国薬学ソフトテニス大会 男子団体3位 女子団体3位 男子個人準優勝【薬・1加藤貴大・2天本康介】 女子個人3位【薬・2小笠原麻衣・3渡辺久美子】
薬	ソフトテニス部	8月6日～9日	伊勢市市営庭球場	関西薬学ソフトテニス大会 男子団体3位 女子個人4位【薬・2小笠原麻衣・3渡辺久美子】
薬	卓球部	8月13日～14日	東京都立川市 泉市民体育館	第50回全日本薬学生卓球大会 男子シングルス8位【薬・3鈴木健二】 女子シングルス3位【薬・2榎原有季子】
薬	バドミントン部	8月11日～15日	パークアリーナ小牧	関西薬学生バドミントン大会 男子団体3位 男子ダブルス3位【薬・4有井智栄・2千葉俊輔】
薬	バドミントン部	10月5日～8日	ウイングアリーナ刈谷	東海医歯薬バドミントン大会 男子シングルス4位【薬・2千葉俊輔】

高まる世界的評価

飯島澄男教授

ここ数年来ノーベル賞有力候補として名高い、飯島澄男理工学研究所教授。今年は世界的に著名な賞を受賞するなど二層業績の評価が高まりました。その一端をご紹介します。



○バルザン賞

優れた研究者に与えられる、イタリアのバルザン賞を飯島教授が受賞しました。

Balzan財団から、毎年、科学2賞と、人文・社会2賞が、分野を変えて顕彰されます。今年は科学分野で、9月に受賞者が発表され、飯島教授が選ばれました。受賞式は11月23日で、賞金は100万スイスフラン(約9600万円)です。日本人の受賞は初めてです。

(※授賞式の写真は今回間に合いませんでした。)

○第48回藤原賞

藤原財団が毎年、自然科学で優れた業績を上げた研究者に贈っている学術賞。物理・数学、工学、化学、生物・農学、医学の5分野から2人が選出されるもので、今年は荒川泰彦氏と2人が受賞しました。

今回の受賞は、高度な電子顕微鏡の技術を駆使し、原子の直接観察などに成功するとともに、有望な炭素新素材カーボンナノチューブを発見したことによります。6月15日に贈呈式がありました。

○グレゴリーアミノフ賞

スウェーデン王立アカデミーから「グレゴリーアミノフ賞Gregori Aminoff Prize」を受賞し、6月13日に現地ストックホルムのRoyal Swedish Academy本部にて行われた授賞式に出席しました。

この賞は、スウェーデン王立科学アカデミーの会員であった結晶学者グレゴリー・アミノフの功績を記念して、毎年、結晶学の分野で優れた業績を上げた研究者にスウェーデン王立科学アカデミーから贈られるものです。

今回の受賞は、「カーボンナノチューブの構造的研究」に対するもので、日本人の受賞は初めてです。

○米国科学アカデミー会員に選出

米国アカデミー外国人会員に、飯島教授ほか2人の日本人学者が選出されました。現在の日本人会員は、江崎玲於奈氏、小柴昌敏氏ら28人です。



校友会創立50周年記念事業

〈記念式典・イベント・懇親会〉

日程 ■ 平成20年7月20日(日)

会場 ■ 名古屋国際会議場[全館借切]



人生のランドマークを
とともに仰ぐ一日
『交流と友好』

時を重ね、煥めく未来へ。

"あの日の自分に逢いに来て、
あの日の仲間と語らいませんか?"

校友会創立50周年記念事業へ
ご参加をお待ちしています。

企画は校友会ホームページにてお知らせします。
<http://www.meijo-ob.com/>

校友会報第53号訂正

平成19年8月1日付けにて発行した「校友会報第53号」におきまして、誤字・脱字・誤脱等のミスがありましたので訂正させていただきます。ここに謹んでお詫び申し上げます。(校友会報編集委員会)

○5ページ「校友会会長挨拶文」本文2行目「15,600人を有する」を「156,000人を有する」に修正

○12ページ「公募制推薦入学試験」経済学部(合否判定)「成績にもとき合否判定」を「成績にもとき合否判定」に修正

○16ページ「北海道支部だより」タイトル「北海道支部旭川名城会より」を「活気溢れる北海道支部を取り戻したい」に修正

○29ページ「土木会年末情報交換会」11月16日(金)を「11月9日(金)」に修正

また、締め切りまでに原稿をいただきながら掲載誤脱の「長崎県支部だより」及び「佐賀県支部だより」をここに掲載させていただきます。なお、本来8月発行分への寄稿であるため、時期的な不自然さにつきまして、ご海容のほどお願い申し上げます。

長崎県支部だより

〈東南アジア異文化交流の二環として
“ミャンマー文化について”講演会実施〉

長崎県支部長 本山 昭雄

平成19年度長崎県支部総会において、西依孝氏の厚生労働大臣賞受賞記念祝賀会として、上記題名によりミャンマー連邦国出身、情報工学博士 Myat Kalayar 先生をお迎えしての講演会を実施しました。ミャンマーの民族服にて、教育・文化・宗教その他講話を拝聴し、新しい知識を学ぶことが出来大変有意義な会でした。

本山より農村出身者の戦争回想記を断片的に説明しました。絶望の日々地獄のビルマ戦線を偲ぶ記録、私がたどったビルマ従軍、死の谷への転戦、2人に共通する言葉は18万人程の戦病死者がいた事、捨てられた兵隊たち、ビルマの地が戦場になり迷惑を受けたのはビルマの人達だったと結んでいます。今日生存しているのは土民の助けによるものと記しています。出席者全員が多くの感銘を受けたものです。

佐賀県支部だより

〈第14回佐賀県青春寮歌祭出場及び
支部結成30周年記念総会を終えて〉

佐賀県支部長 宮田 輝雄

支部会員の皆様には平素より格別なるご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。平成18年11月25日(土)「佐賀市交流センター」に於いて開催の「第14回佐賀県青春寮歌祭」には、北海道大学から始まり早稲田大学まで27校が出演、名城大学は中間の12番目に出場しました。今回は東京農大による大根踊りのキャラクター前のお出でだったのでほっとしました。壇上には兼松学長、武藤秘書室長、林校友会会長 上田同副会長、応援団OB(岡村氏、山本氏)、三重県支部、九州三支部等の友情支援を受け、名城大学の規模、飛び入学、女子駅伝、青色発光ダイオード研究者赤崎教授の紹介と、学長のスローガン「輝け名城大学」朝日が昇るがごとく、まぶしさを感ずる輝く大学に「等のアピールをして、その後」に学歌を歌い、名城節の踊りを披露しました。

同日、午後6時より「四季彩ホテル千代田館」に於いて支部結成30周年記念総会を県内校友会員17名、友情支援14名、合計31名にて開催いたしました。

支部長挨拶の後、兼松学長の挨拶、林校友会会長の挨拶、佐賀県支部の事業報告と平成17・18年度収支報告の後、懇親会に移り支部会員と学長、校友会会長、他支部との会話に時間のたつのを忘れ楽しく過ごしました。閉会する前に岡村氏による名城節を舞ってもらいました。会員全員が心に残ったと思います。(平成19年度佐賀県支部総会は平成19年11月17日(土)「第15回佐賀県青春寮歌祭」に合わせて開催され、盛会裡に終了いたしました。)



東海で優勝のラクロス部

ラクロス部



第二グラウンドで早朝練習に励むラクロス部、現在部員は50人。竹内主将の掛け声で、てきぱきとゴールを用意したり、ラインを引いたり、まとまりがあります。準備運動は佐野悦子マネージャー（2年）のホイッスル。マネージャーは他に1年生が3人います。

11月4日の、東海リーグ優勝戦では、日本福祉大学と対戦しました。今回のリーグ戦で対戦するのは2度目、前回は1点差で勝利。

優勝戦では、先制の1点を入れたものの直ぐに返され、そのまま福祉大のペース。勢いの止らない福祉大にこのまま



勝利をさらわれるかと思った後半、今まで抑えていたものが爆発するような反撃で一気に5点を入れて逆転し、その後も2点追加で、福祉大の追撃を跳ね除け勝利を手にしました。

今度は、12月の第二土曜日に西日本大会です。去年は一回戦で敗退しましたが、今年はぜひ1勝はしてほしいですね。



想い

先日初めてラクロスの試合取材に行きました。あまり騒がれてもいけないので、東海リーグの優勝戦でも応援はしたいこと無いただろうとタカをくくっていたところ、名城大学も対戦相手の日本福祉大学もすごい応援団。グラウンドへ入れなかったクラブ員はもちろん、OBや父母の姿も多く、試合の流れに選手同様、歓喜の声やため息がグラウンド内に響きます。同じ日に優勝決定戦があったアメフトの試合でも、父母の姿がたくさん見られたとか。仙台の女子駅伝でも年々応援団が増えているような気がしました。

皆が名城大学の名のもとに、心を一つに応援する姿は心強いものがあります。きっと選手にも皆の気の流れが届いている事でしょう。これからも応援よろしくお願いします。そして、応援に来ていただけるよう、試合等の情報をこまめに発信するように、学務センターとも力を合わせていきます。

S.T